

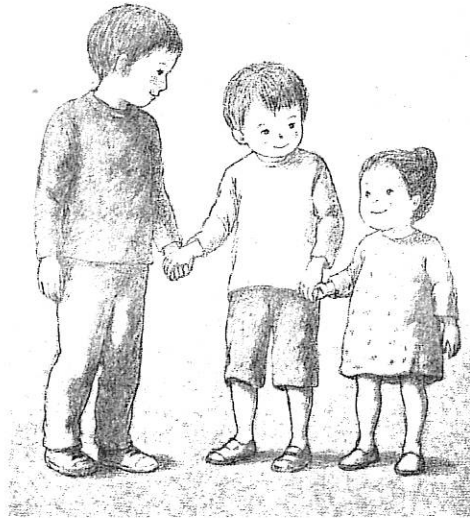
しんりんかんだより

年主題 共に喜んで

月主題 3F/2F はじめまして/ひとりひとりの
名を呼んで

'21 第1号 (vol. 49)

2021年4月1日発行



「ともに喜ぶ」

今年7名の子どもたちが親隣館保育園を巣立っていきました。保育園に登園する最後の日、「今日は、〇〇公園に行きたい」「今日は全員で鬼ごっこしたい。」「みんなでカプラで魚の形のかまくら作りたい～」と毎日保育園でやりたい事がいっぱい意欲にあふれていました。そんな年長さんの姿にあこがれて、年中さんも年少さんも、やってみたい、できるかな、と様々な遊びに加わり、少しずつできることが増えていきました。年長さんと一緒に毎日縄跳びをやっていた年少さんが、初めて縄を跳べた瞬間に「すごいねーできたね！」と自分の事のように喜んでいる年長さんの姿がありました。やってみたいとできたを支える事が私たち保育者の役割です。コロナ渦ではありますが、子どもたちの今しかできない経験をどのようにして実現していけるのか、今年度もみんなで知恵を絞って考えて行きたいと思います。

新年度は、4名のお友だちが新しく親隣館保育園の仲間になりました。初めてお母さんのもとを離れる不安から泣くこともあると思いますが、その涙は、お母さん大好きな証です。今までお母さんのもとで沢山の安心感を得て蓄えてきたエネルギーを爆発させているのです。その不安な気持ちも、私たち保育士がまるごとしっかり受け止めます。

「ひよこ組の赤ちゃんたち泣いちゃうかな～」と光組のお兄さん、お姉さんたちが入園式を前に心配していました。入園式には、ひよこ組さんが楽しくなるような歌をプレゼントしようとおもちゃのチャチャチャを合奏しながら歌う事に決めました。40名の子どもたちが集う親隣館保育園は、大きなお家です。家族のように1歳から5歳までの子どもたちが共に育ちあって行きたいと思っています。新入園の保護者の皆様どうぞよろしくお願い致します。

(主任 鹿糠 正美)